

甲子園筋の街路樹更新計画

兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所 2022.11

はじめに

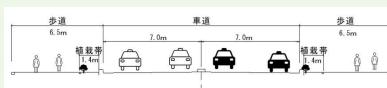
- 西宮七園のひとつで、阪神間を代表するブランド住宅地のひとつとされる甲子園。甲子園の住宅地を南北に貫くメインストリートである甲子園筋の街路樹筋は、植樹から70年以上が経過し、経年による老木化と大木化の進行など、様々な課題を抱えている。

そこで計画的に樹種更新を行い、車両と歩行者の安全通行の確保や、緑豊かで阪神間モダニズム文化を継承する質の高い景観を創出するため、阪神電鉄甲子園駅から国道2号までの区間を対象とした街路樹更新計画を策定する。

- 計画区間延長：約1.5km

車道幅員：約13.4～14.8m（4車線）

歩道幅員：片側約5.5～7m（樹木帯の幅1.4m）、一部約2.5～3m（植栽枠幅1m）



- 街路樹：111本（※令和4年9月時点）
(プラタナス42本、ポプラ59本、その他10本)

現状の課題

- 老朽化（空洞化）や、大木化による倒木の危険性が高い
- 根上がりの発生
- 枯れた木や、切り株の放置
- 樹形の乱れ
- 街路樹の大木化による歩道照明灯との干渉
- 落ち葉処理の住民負担
- 剪定にかかる維持管理費の増大

街路樹選定の方針

- 既設植栽スペースの大きさに適したもの
- 夏の緑陰が確保出来る
- 現在の甲子園筋の姿（イメージ）を踏襲する
- 道路の建築限界を侵さない

街路樹には適さない樹木

- 成長が早すぎる樹木
- 将来大木になる樹木
- 病害虫が多い樹木（例えばサクラ、モモ、ウメ等）
- 致命的な病害虫がつく樹木
- 落ち葉が多い樹木（例えばクヌギやコナラ等）
- トゲが多く鋭い樹木
- 有毒植物（例えばキョウチクトウ、シキミ等）

街路樹のイメージと樹種の提案

樹種	街路樹のイメージ				
	甲子園筋にふさわしい 夏の緑・秋の紅葉などの季節	病害虫に強い樹木	樹木 まちに風格を感じさせる	道幅狭隘に応じた建物の いだ樹木	んた樹木 甲子園といふ土地になじむ
サルスベリ カントリーレッド	○	○			
シマトネリコ		○			
イペー		○			○
クスノキ	○	○	○	○	○
ケヤキ	○		○	○	○
ベニバナトチノキ	○			○	



樹種を選定し、4パターンのイメージを提案



パターン 1
全部サルスベリ



パターン 2
全部イペー



パターン 3
北側がイペー / 南側がクスノキ



パターン 4
北側がサルスベリ / 南側がクスノキ



アンケートを実施



更新樹種の決定

- 大木のクスノキに現状を踏襲するイメージがあり好意的。
- サルスベリとイペーの得票数が拮抗するもイペーが多い。

北側イペー / 南側クスノキ

サルスベリ・カントリーレッド

阪神間を代表する邸宅地として、気品性、統一感のある景観を演出



イペー

美しい黄色い花が印象的で、阪神タイガースのホームタウンを演出



クスノキ

兵庫県の県木。阪神電鉄甲子園駅南側の街路樹であり、連続性を演出





甲子園筋街路樹更新手順

3つのエリア 現状、写真



A エリア

阪神甲子園駅北側～甲子園四番町の区間
高木があまりなく、切り株状態が多い。
高木は33本あり、内、健全木は11本。



B エリア

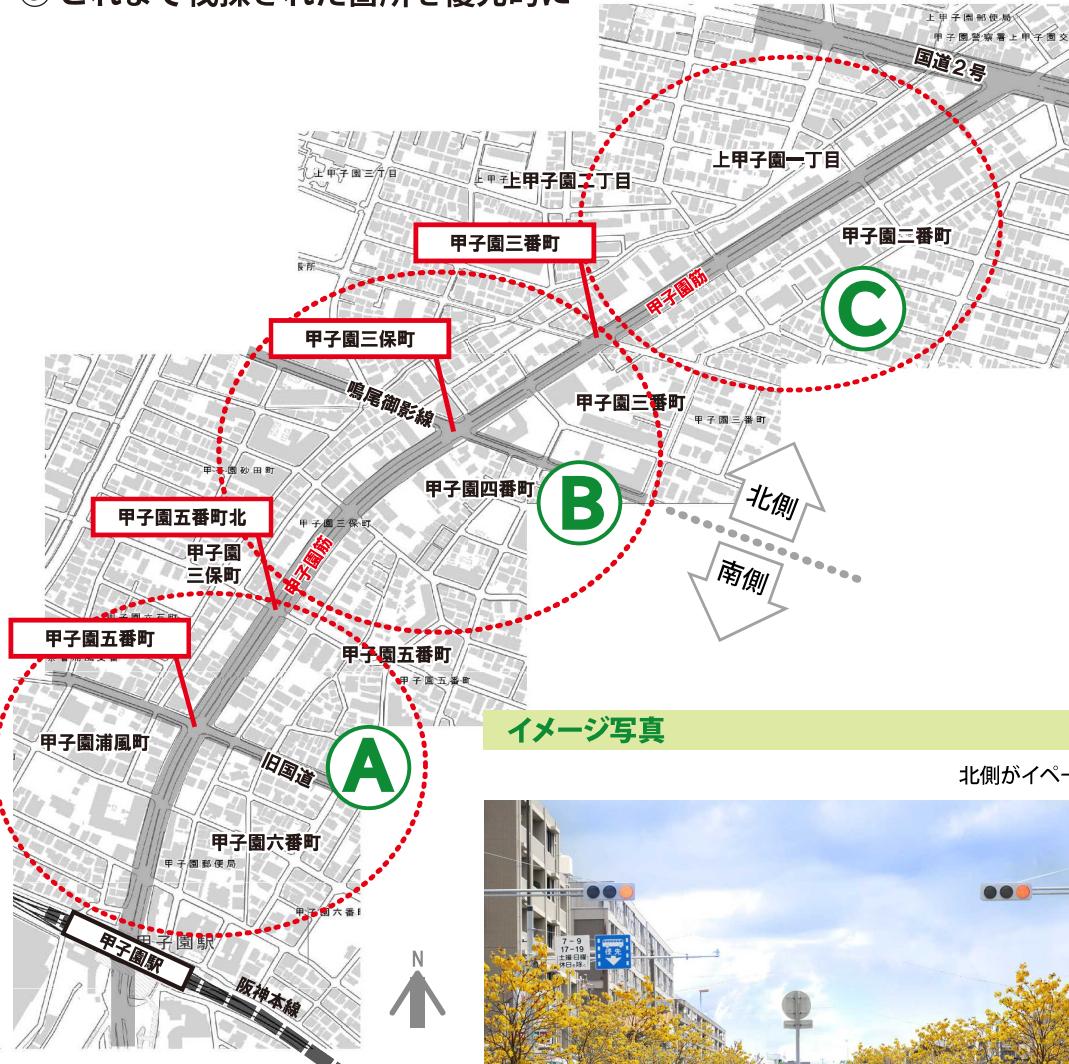
甲子園四番町～甲子園二番町の区間
巨大化した木が多い。
高木は27本あり、内、健全木は10本。



C エリア

甲子園二番町～甲子園一番町の区間
甲子園三番町交差点以北の西側歩道が狭い。
伐採された箇所が多い。
高木は51本あり、内、健全木は13本。

- ① 危険な木を伐採する
- ② エリアを A - C に区分し、A ⇒ C ⇒ B 順で進む
- ③ これまで伐採された箇所を優先的に



イメージ写真



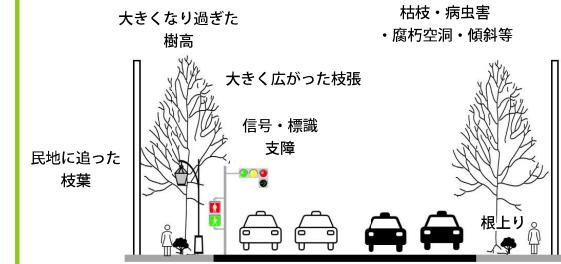
北側がイペー



南側がクスノキ

断面図イメージ

整備前



整備後

